

街を行く

第47回 浜松 Hamamatsu

こだわりが街を作っています

浜松といえば何を連想しますか？ うなぎや楽器、オートバイ、軽自動車…、恐らくそんなところでしょうね。小生も最近までそうでしたが、製造・生産されているモノだけで浜松を語ることはできません。ここは静岡県最大、いや東海地方を代表する大都市（政令指定都市）の顔を持っています。ところで日本に政令指定都市はいくつあるか御存知ですか？ 政令指定都市とは「人口50万人以上の大都市」を指し、全国に20都市しかありません。浜松はその1つに数えられているのだから立派なものですよ！ おそらく皆さんの想像を超えるほどに大きい都市なのです。

また、歴史からみれば徳川家康と切ってもきれない場所です。築城された浜松城は「出世城」とも呼ばれ歴代の殿様は幕府の出世街道を歩んだのだそうです。そんな縁起の良い城ならば、と小生、天守閣に上ってしまいました。天守閣から眼下の街を望むと、やはり目立つのは駅前の「アクトシティ」。この建物は名古屋駅前の「JRセントラルタワーズ」が完成するまで中部一の高さボリュームを誇っていました。楽器の街を象徴するように施設内には音響の贅を尽くしたコンサートホールがあります。事業採算とか収益性だけでは開発を考えないプロジェクトへのこだわり、小生は好きですよ。地方都市には絶対に捨ててもらいたくない心意気ですね。また、建物を横から見ると、ハーモニカをモチーフにデザインされています。こんなこだわりあるかたちをした建物は、浜松では他にも教会や芸術大学、小学校の校舎（写真）などあちこちに。見る人によって賛否

駅前にそびえ立つ「アクトシティ浜松」小学校のホール壁面には楽器の演奏風景がレリーフに



両論はあるかもしれませんが、ここまで个性的な建造物が多く集まっている街は他にあるのでしょうか？ 小生は見たことがありません。

時代の波に流され衰退の2文字が覆いつつある地方都市。それら地域や街の生き残りをかけた戦が全国で行われています。まさに戦国時代そのもので、合戦の一つには「全国B級グルメ」や「ゆるキャラ」コンテストがあります。地元の名物や名産品はどこへでも運ぶことが可能ですが、街自体は動きません。受け身で人を待つしかない。繁栄するには人をどう呼び込むかがキーです。その策で一番手取り早いのが観光資源であり、観光立国を掲げる日本の政策は間違いのない選択です。ただし観光だけでは街は存続できません。浜松は地場に世界的なトップ企業が名を連ねています。実は浜松だけではなく、多くの地方都市にも、数は少ないとしても優良企業はちゃんと存在しているのです。それにフラットな社会になって来たのですから、あまり地便性にこだわることはないかもしれません。それより大きいのは歴史です。次回の訪問の楽しみに「うなぎ」は



敢えて食べずにおきました。でも、浜松は「餃子」でも有名だったのですね。

南 一 弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発（旧松下興産）の代表取締役兼取締役に就任。2006年株式会社ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役兼取締役に就任。